

■ 沼津市都市計画マスタープラン 第2回委員会における指摘事項と作業内容

	指摘事項	作業内容
視点① 新たな交通基盤を活かしたまちづくり	<p>○（都）片浜池田線沿線の開発エリアは、都市構造への影響を整理したうえで位置づけるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域及び市内の開発傾向をみると、沼津 I C 周辺への産業集積は合理的 ・ただし、都市マスに位置付けるのであれば、中心市街地の再生、津波浸水想定区域での人口維持等の市全体の課題を見据え、（都）片浜池田線沿線開発による都市構造への影響を考える必要がある ・その際、沿線開発のいくつかの方向性を示し、それぞれ都市全体、交通、周辺環境等への影響を整理してはどうか 	<p>「東名・新東名周辺のまちづくりの方向」を作成</p> <p>→産業立地により想定される影響について整理</p>
視点③ 沼津駅周辺整備を中心とした中心市街地のまちづくり	<p>○個別のプロジェクトで考えるのではなく、中心市街地全体の議論をすべき。その際、鉄道高架事業のスケジュールを考慮することが必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架事業で生みだされる空閑地の有効活用と、中央公園及び香陵公園周辺の整備方針については、個別のプロジェクトとしてではなく、中心市街地全体の議論として検討すべき ・そのとき、鉄道高架事業のスケジュールを考えることが重要であり、将来の中心市街地の人口減少、高齢化から市の財政縮減を踏まえ、必要な機能、ふさわしい土地利用を考える必要がある 	<p>「中心市街地のまちづくり（現況と課題、構想、まちづくりイメージ）」を作成</p> <p>→沼津駅周辺整備事業などのプロジェクトを含めた中心市街地全体の考え方を整理</p>